

とうきょう すくわくプログラム活動報告書〈令和7年度〉

法人名	社会福祉法人 崇仁会
施設名	北沢みこころ保育園
所在	世田谷区北沢 4-16-6
クラス	つぼみ組 1歳児

1. 活動のテーマ

〈テーマ〉

音 ～様々な音に触れて楽しむ～

〈テーマの設定理由〉

4月、子どもたちの様子を見て、音に興味を持つ子が多かったため、色々な音に触れて楽しめるように「音」をテーマにすることに決めた。

2. 活動スケジュール

- ① 新聞紙、プチプチ遊び 7/28
- ② 楽器遊び 8/6
- ③ 体操 2/9 【今回はこちらをご紹介します！】
- ④ 戸外活動【今回はこちらをご紹介します！】

3. 探究活動の実践

(活動の内容)

・活動のために準備した素材や道具、環境設定

- ① ② 前回の報告書をご参照ください
- ③ 【素材、道具】・CD・CDデッキ
【環境設定】転倒することがないように、玩具は全て片付けた。広いスペースを確保して行った。
- ④ 【素材、道具】・自然物（雪、ナズナ、落ち葉などの自然物）
【環境設定】発見が広がるように声掛けするようにした。危険物がないか事前にチェックした。

・活動中の子どもの姿や声、子ども同士や保育者との関わり等

① ② 前回の報告書をご参照ください。

③ 体操は、日常的に取り入れている活動であり、子どもたちも大好きな活動である。

この日は、その中でも聞き慣れている「わーお!」「ピカピカブー」「ぐるぐるどっかーん!」の3曲で行ったので、振りを覚えている子が多かった。動きの真似が上手になってきたこともあり、保育士を見ながら身体を動かす姿も見られた。1曲終わるごとに「つぎはなにかなあ」と考え、期待を寄せる姿も見られた。曲中では、走る場面もあるため、保育者は子どもたち同士がぶつからないように注意した。

クラスの中では、音楽が好きではあるが、一緒に踊ることはせず、他児の動きを見ている子や、違う遊びを始めてしまう子も混在するので、身体を動かしている子と衝突しないように、場所を移動させたり、適度な声掛けをしたりしながら、無理なく参加できるようにした。

④ 雪遊びをした際は、手や足を使って感触を楽しむ姿が見られた。足で踏んだ時の音が楽しかったようで、笑顔になる子が多くいた。雪に触れると、「つめたい!」と教えてくれる子も多くいた。ナズナから音が鳴ることを見せながら伝えると、保育士の真似をして音を鳴らす姿が見られた。「きこえる!」と嬉しそうに何度も繰り返し音を鳴らすことを楽しんでいた。

・活動中の様子

① ②は前回の報告書をご参照ください。

③体操



④ 戸外活動



4. 振り返り

- ① ②は前回の報告書をご参照ください
- ③ 聞き慣れた曲で楽しそうに身体を動かす姿が見られてよかった。保育士や友達が体操をしているところを観察している子に対しては、様子を見ながら声がけしていくうちに、子ども自身の好きな曲や走る場面になったりすると楽しそうに参加する姿が見られた。保育者自身が楽しむこと、また子ども一人ひとりの様子を見ながら、無理強いしないことが、楽しく活動できるポイントである。
- ④ 戸外遊びを通して、様々な音に触れて遊ぶことができてよかった。特に雪が積もっていた際は、子どもたちの反応がとてもよく、終始雪遊びを楽しんでいた。雪を踏む音や湿った土を踏む音など耳をすませると様々な音があることに気付けた。秋は、落ち葉遊びを通して、春が近づいた頃には、ナズナで音を楽しむことができた。